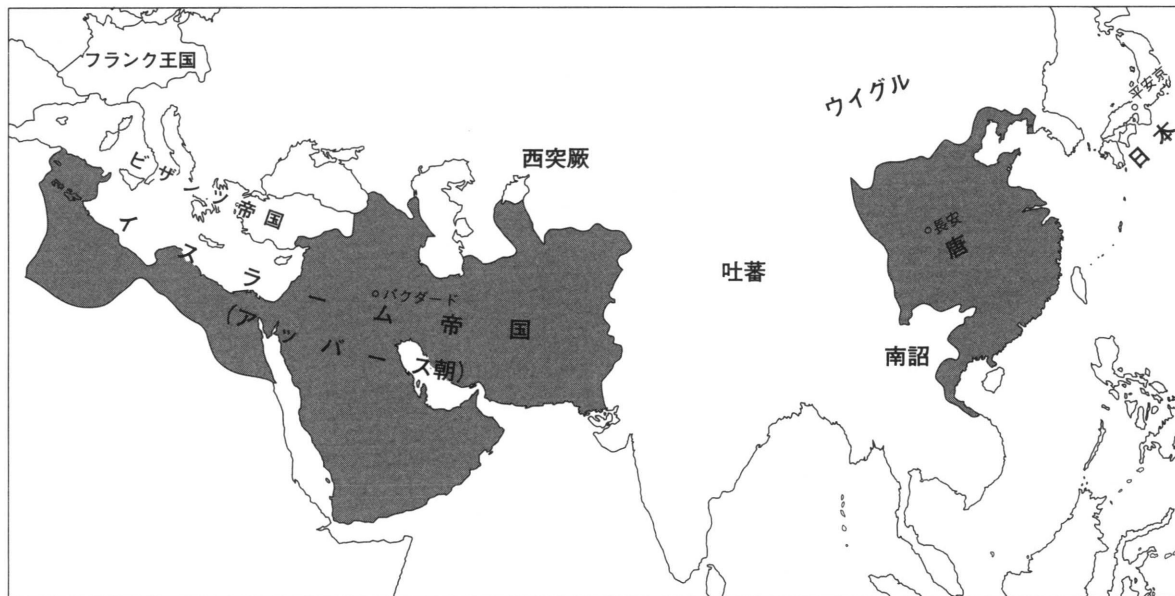


アラビアンナイト : ファンタジーの源流を探る

著者	西尾 哲夫
発行年	2010-10-01
URL	http://hdl.handle.net/10502/4799

〈参考地図〉 アラビアンナイトが成立した九世紀頃の世界



●参考文献

アラビアンナイトの物語を読んだり、さらに深く研究したりするのに必要な文献のなから、現在も日本語で読めるものを中心にあげました。

《翻訳書》

〈ガラン版アラビアンナイト〉

ボルヘス編集抄訳『千夜一夜物語―ガラン版 バベルの図書館(24)』(井上輝夫訳、国書刊行会、一九九〇年)

『ガラン版千一夜 巻一、巻二(以下、続刊)』(立花実歩訳、電子出版 <http://pbc.on.coocan.jp/necom/index10.html#32> 二〇〇九年)

『シンドバードの航海記』(立花実歩訳、電子出版 <http://pbc.on.coocan.jp/necom/index10.html#33> 二〇一〇年)

〈バートン版アラビアンナイト〉

『バートン版 千夜一夜物語』(大場正史訳、ちくま文庫、筑摩書房、二〇〇三―〇四年)

〈マルドリユス版アラビアンナイト〉

『完訳 千一夜物語』(豊島与志雄・渡辺一夫・佐藤正彰・岡部正孝訳、岩波文庫、岩波書店、一九四〇―五九年、新版一九八八年)

〈アラビア語原典(カルカッタ第二版)からの翻訳〉

『アラビアン・ナイト』(前嶋信次・池田修訳、東洋文庫、平凡社、一九六六―九六年)

《入門書》

西尾哲夫『アラビアンナイト―文明のはざまに生まれた物語』(岩波新書、岩波書店、二〇〇七年)

西尾哲夫『図説アラビアンナイト』(河出書房新社、二〇〇四年)

国立民族学博物館編・西尾哲夫責任編集『アラビアンナイト博物館』(東方出版、二〇〇四年)

ロバート・アーウィン『必携アラビアン・ナイト―物語の迷宮へ』(西尾哲夫訳、平凡社、一九九八年)

前嶋信次『アラビアン・ナイトの世界』(平凡社ライブラリー、平凡社、一九九五年)

青柳悦子『デリダで読む『千夜一夜』—文学と範例性』(新曜社、二〇〇九年)

樽本照雄『漢訳アラビアン・ナイト論集』(清末小説研究会、二〇〇六年)

小林一枝『アラビアン・ナイト』の国の美術史』(八坂書房、二〇〇四年)

實吉達郎『アラビアンナイトストーリー』(新紀元社、二〇〇六年)

杉田英明『日本人の中東発見—逆遠近法のなかの比較文化史』(東京大学出版会、一九九五年)

西尾哲夫『ベリリダンスを踊ると体が笑う—アラブから世界へ—西尾哲夫・堀内正樹・水野信男編』アラブの音文化—グ

ローバル・コミュニティへのいざない』(スタイルノート、二〇一〇年)

《もっと知るための必携書》

ウルリッヒ・マルツォルフ他編『アラビアンナイト百科事典』二〇〇四年 (Ulrich Marzolph and Richard van Leeuwen eds.

The Arabian Nights Encyclopedia. 2 vols. Santa Barbara/Denver/Oxford: ABC-CLIO)

これまでわかっているアラビアンナイト全物語の梗概と主要な訳者や登場人物、関係文化事項に解説を加えた百科事典である。邦訳が待たれる。

ハサン・エルシャミー『千一夜のモチーフ索引』二〇〇六年 (Hasan M. El-Shamy *A Motif Index of the Thousand and One Nights*. Bloomington: Indiana University Press.)

アラビアンナイトの民話学的研究の金字塔として、国立民族学博物館における共同研究の成果である。フォークロア研究者にとっては必携の参考文献。

《最新の研究成果にもとづくアラビア語原典からの全訳》

英語訳

The Arabian Nights: Tales of 1001 Nights. translated by Malcolm Lyons and Ursula Lyons. 3 vols. London: Penguin. 2008

フランス語訳

Les mille et une nuits. texte traduit, présenté et annoté par Jamel Eddine Bencheikh et André Miquel. 3 tomes. Paris: Gallimard. 2005

アラビアンナイト年表

西曆	アラビアンナイトに関する事項	その他の事項
七五〇	<ul style="list-style-type: none"> ● 最古のアラビアンナイト断片 ● 九世紀頃、核になる物語がバクダードで編集される 	アッバース朝成立(一二五八)
一二五八	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲニザ文書中の手稿本 ● ガラン写本 ● 一五世紀頃、カイロを舞台とした物語が付け加えられる 	モンゴル軍、バクダード入城
一五〇一	ガランによるフランス語訳刊行(一七一七)	イランにサファビー朝成立(一七三六)
一五一七	ガラン版英訳版刊行(または一七〇五)	オスマン帝国、シリア、エジプト征服
一七〇六	『続千一夜』(一七八九)	ナポレオンのエジプト遠征
一七八八	カルカッタ第一版刊行(一八一八)	
一七九八	プレスラウ版刊行(一八四三)	
一八一四	ブーラーク版刊行	
一八二四	レイン版刊行(一八四〇)	
一八三五	カルカッタ第二版刊行(一八四二)	
一八三九		
一八六八		
一八六九		
一八七五	永峯秀樹訳『開卷驚奇暴夜物語』刊行	明治維新 スエズ運河開通
一八八二	ペイン版刊行(一八八四)	英によるエジプト占領(一九一四)

一八八三	井上勤訳『全世界一大奇書』刊行	
一八八五	バートン版刊行(〜一八八八)	
一八九九	マルドリユス版刊行(〜一九〇四)	
一九〇四		
一九一四		
一九一五	杉谷代水訳『新訳アラビヤナイト』刊行(〜一九二六)	
一九一六		
一九二二		
一九二四	日夏耿之介『壹阡壹夜譚』刊行(〜一九二九)	
一九二五	森田草平によるレイン版翻訳(〜一九二八)	
一九二九	大宅壮一によるバートン版全訳出版(〜一九三〇)	
一九三二		
一九三九		
一九四〇	豊島与志雄らによるマルドリユス版の全訳刊行(〜一九五九)	
一九四一		
一九四八		
一九六六	大場正史訳『バートン版 千夜一夜物語』刊行(〜一九六七)	
一九七三	前嶋信次・池田修訳『アラビアン・ナイト』(東洋文庫)刊行(〜一九九二)	
一九七九		
二〇〇一		
二〇〇三		
二〇〇四	「国際アラビアンナイト記念年」(ユネスコ認定)	
		日露戦争(〜一九〇五)
		第一次世界大戦(〜一九一八)
		サイクス・ピコ協定
		トルコ共和国成立
		イラク王国独立
		第二次世界大戦(〜一九四五)
		太平洋戦争(〜一九四五)
		イスラエル建国、第一次中東戦争
		石油危機
		イラン革命
		アメリカ同時多発テロ事件
		イラク戦争
		自衛隊イラク派遣